



# 青木村議会だより

Vol. 97  
令和7年5月1日発行

## CONTENTS

- 令和7年 第1回 定例会 … 2～5
- 常任委員会報告…6～7
- 一般質問 … 8～13
- 本会議討論 … 14
- 議会の動き … 15～17
- 議会日誌・住民の声 … 18

半農半医の三林 寛さん

✉ [gikai@vill.aoki.nagano.jp](mailto:gikai@vill.aoki.nagano.jp)

 <http://www.vill.aoki.nagano.jp/gikai03.html>





## 令和7年

### 第1回定例会

令和7年第1回定例会が、去る3月4日に招集され14日までの会期で行われました。提出された案件は、報告事項1件、条例改正7件、条例制定1件、決定事項1件、上田地域広域連合ふるさと基金に係る権利の一部放棄、補正予算4件、令和7年度一般会計・特別会計・企業会計予算と発議1件、請願1件、陳情2件で、慎重審議の結果、すべての議案について原案のとおり承認、可決されました。また、一般質問では6人の議員から村政に対する意見や質問がなされました。

## 村長あいさつ (要旨)

令和7年第1回青木村議会3月定例会を招集いたしましたところ、全議員の皆さんにご出席をいただき、誠にありがとうございました。米や野菜、生鮮食品など食料価格の高騰が続いており、村民の皆さんの家計への影響が憂慮されるところであります。最近の経済情勢では、2月19日に公表された内閣府「月例経済報告」によりますと、2月は『景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。』

このことです。アメリカのトランプ大統領は、就任1カ月で政策の大幅な方針転換を行うと共に、ウクライナでの戦争終結に向け、ロシア寄りの停戦発言をしたとして、関係国・関係者から懸念の声も上がっており、輸入品の関税措置に、日本を含む関係国は対応を迫られております。今後のトランプ大統領の言動は、日本にとりましても目を離すことができない状況です。与党の自民・公明は、衆議院が

過半数に満たない状況の中では、予算成立のため野党の協力が不可欠です。そこで、教育無償化や社会保険料の引き下げなど日本維新の会と正式に合意し、年度内予算の成立にこぎつけました。これにより、毎年5千億円規模で歳出が増える見通しとこのことでもあります。将来にわたる財源はどう確保するのか、与野党がこの問題を組み合わせた国会論争を重要課題としていただきたいと期待

しております。令和7年度一般会計当初予算については、4月に村長及び村議会議員選挙を控えることから、いわゆる「骨格予算」という考え方もありますが、4月1日から村民生活に密着した予算が多いことから、基本的には通常の当初予算編成といたしました。一般会計の予算規模については、32億6000万円、前年度比1億9300万円増となりました。増加した要

因は、職員給与の制度改正による人件費の増、国のシステム標準化に係る経費の増、児童手当の制度改正による扶助費の増、物価高騰の影響による委託料などの経常的経費の増が挙げられます。本年は、第6次青木村長期振興計画「明るい！優しい！あったかい！笑顔あふれる青木村〜人と自然と産業が融和した豊かな郷土」の4年目となります。6分野並びに6つの重点プロジェクトの達成に



子どもたちも参加して盛大に行われた節分祭

向けて取り組みます。また、時代の潮流でありますSDGs、ゼロカーボン、DXなど、新しい時代の要求にも的確に対応して行きます。

今議会は皆さんと同じく私も今期最後の議会となりまして、4年間を振り返りますと、幸いにもコロナ禍が殆んど終焉し、経済活動をはじめ村民の皆さんの活動も活発となり、現在はコロナ禍前の状況に戻りました。最も思い出深い出来事は、東京証券取引所のプライム企業、竹内製作所の企業誘致が実現し、令和5年9月から操業開始されたことです。村長立候補時の当初の公約が実を結び、その結果、村の税収、雇用、若者定住の面で大きな成果を出すことができました。又、五島慶太翁顕彰活動も、県との連携のもと着実に成果を挙げており、大変嬉しく思います。この4年間は、多様化の時代の流れの中で、我が故郷青木村も大きく変革した時期でありました。ここにおられる議員の皆さんと共に一定の緊張感を保ちながら、村民の皆さんの命と暮らしを守り、更なる発展のため切磋琢磨し、成果を収めることができました。改めた事は誠に感慨深く、改めて全議員の皆さんに深甚なる感謝を申し上げる次第で

す。

村を取り巻く環境は課題が山積しております。少子・高齢化と人口減少の進行は、社会・経済・地域など様々な面で深刻な影響を及ぼしており、今後、持続可能な村づくりに懸命な努力をしていく必要があります。災害が少なく、自然に恵まれた青木村は、心豊かな村民性と、更に国道143号青木峠バイパス(新トンネル)の開通や大型企業の誘致などの大型プロジェクトを通して、今後大きく発展する伸びしろがあります。私共はこれで4年の一区切りとなりますが、これから村政に携わる方々には是非、以上のことを踏まえ、村民の皆さんの安全・安心を確保し、村の経済・社会の活性化に向けた村づくりの推進を切に願うものがあります。

報告

報告第1号

専決処分の承認を求めることについて

○令和6度青木村一般会計

補正予算(第5号)

歳入歳出それぞれ153

8万円を追加し、総額を44億

議案

議案第1号

青木村議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例について

国で定める関係政令の一部改正されることに伴い、引用する条に繰下げ等が生じることから所要の改正を行うものです。

議案第2号

一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について

人事院勧告及び長野県人事委員会において示された勧告に基づき、一部を改正するもので、国、県が実施する給与制度等の見直しを踏まえ、民間の給与水準との均衡を維持しつつ実施するものです。

議案第3号

職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

国が定める関係法律が一部改正されることに伴い、引

用する条項に繰下げが生じたことにより、所要の改正を行うものです。

議案第4号

青木村高速情報通信網の設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例について

あおきネットワークの整備に関連し、令和7年度の現サービスを新サービスの利用料を徴収しないものとし、その現サービスに係る規定を改正するものです。

議案第5号

青木村犯罪被害者等支援条例について

この条例は、犯罪被害者等基本法に基づき、犯罪被害者等の支援に関する基本的事項を定めたものです。犯罪被害者等が受けた被害の早期回復や軽減を図り、村民の誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目的として制定するものです。

賛成討論

松本 淳英 議員

議案第6号

青木村消防団条例の一部を改正する条例について

消防団員の定数を現行の

300人から230人に削減し、団長及び副団長の任命資格について緩和を行うものです。

議案第7号

青木村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について

国が定める扶養手当支給額関係法律が一部改正されたことに伴い、国と同様に扶養手当支給額及び扶養に係る補償基礎額の加算額について改正するものです。

議案第8号

青木村非常勤消防団員に係る退職償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について

非常勤消防団員の処遇改善を図るため、退職償金の勤務年数区分に新たな区分を追加し改正するものです。

議案第9号

損害賠償の額の決定について

損害賠償額が決定した為、地方自治法の規定により議会の議決を経るものです。

議案第10号

上田地域広域連合ふるさと基金に係る権利の一部を放棄することについて



上田地域広域連合ふるさと基金に対する村の出資総額2767万1千円のうち、令和7度の実施する地域医療対策事業に充当するため、376万8千円の権利を放棄するものです。

**議案第11号**  
**令和6年度青木村一般会計補正予算について**

歳入歳出それぞれ617万4千円を追加し、総額を45億298万4千円とするものです。歳入は普通交付税2551万2千円の増、新しい地方経済・生活環境創生交付金(避難所環境改善事業へ充当)2244万7千円の増、価格高騰特別対策支援事業補助金(住民税所得割非課税世帯支援事業へ充当)400万円の増、公共施設整備基金(情報通信関連事業基金からの財源振替、及び既充当先事業実績による)7418万2千円の増、情報通信関連事業基金(公共施設整備基金への財源振替)9000万円の減、歳出は情報通信施設等整備基金積立金3000万円の増、新しい地域経済・生活環境創生交付金事業4559万4千円の増、体育施設照明

LED化工事の実績による1434万円の減が主なものです。

**議案第12号**  
**令和6年度 青木村介護保険特別会計補正予算について**

歳入歳出それぞれ15万9千円を追加し総額を5億9153万7千円とするもので、システム改修委託費の増が主なものです。

**議案第13号**  
**令和6年度 青木村簡易水道事業会計補正予算について**

収益的収入は940万円を追加し、総額を1億8753万2千円とするもので、対物賠償共済費の増です。収益的支出は417万7千円を追加し、総額を1億7443万1千円とするもので、人件費及び損害賠償費の増です。資本的収入は3037万円を追加し、2億3640万円とするもので、水道事業債2000万円の増と国庫補助金1000万円の増が主なものです。資本的支出は3160万円を追加し、2億7775万9千円とするもので、送水ポンプ更新工事3000万円の増、軽ト

ラック購入費160万円の増です。

**議案第14号**  
**令和6年度 青木村特定環境保全公共下水道事業会計補正予算について**

収益的支出は427万8千円を減額し、総額を2億1552万8千円とするもので、人件費の減です。

**議案第15号**  
**令和7年度一般会計予算**

**議案第20号**  
**令和7年度青木村特定環境保全公共下水道事業会計予算について(左頁別表参照)**

議員報酬改定、2025国勢調査、消防団員の準中型自動車免許等取得費補助金、防災無線設備更新工事、井戸水質検査、防災士資格取得支援補助金、土砂災害計画区域等抽出業務、レンタル農業用機材(乗用草刈り機)の更新、松くい被害木ドローン調査、土木設計書積算システムへの導入、村道の当郷国道北5号線舗装修繕工事、地域消費券事業補助金、児童手当の拡充、帯状疱疹ワクチン接種補助金、保育園給食室の食品瞬間冷却調理

器の購入、児童センター空調設備工事、小・中学校照明設備のLED化工事、小・中学校学習用タブレットPC更新、水道管布設替工事、浄化センター設備改修工事などが計画されており、一般会計予算は対前年度予算比6・3%増の予算となりました。

**発議**

**発議第1号**  
**青木村議会議員の請負の状況の公表に関する条例について**

この条例は地方自治法により、規制されていた議員個人と村との請負契約において、昨今の地方議会議員のなり手不足への対応から、年間300万円まで除外されたことに伴い制定するものです。

**請願**

**請願第1号**  
**「再審法(刑事訴訟法の再審規定)」の速やかな改正に関する請願について**

えん罪被害者を救済するため、必要な内容を盛り込んだ再審法(刑事訴訟法の再審規定)改正の意見書を国に提出するよう求める請願です。

賛成討論

塩澤 敏樹議員

**陳情**

**陳情第1号**

「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書について

最低賃金法を全国一律制度に改正するとともに、中小企業、農林水産業への支援策を拡充・強化する等の意見書を国に提出するよう求める陳情です。

賛成討論

坂井 弘 議員

**陳情第2号**

「持続可能な学校の実現をめざす意見書」採択を求める陳情書について

学校の働き方改革推進のため、教職員の長時間労働は正に資する政策を求め、意見書を国に提出するよう求める陳情です。

賛成討論

坂井 弘 議員



# 令和7年度 当初予算 青木村一般会計・特別会計・公営企業会計予算

(R7年度)

会計名		歳入・歳出予算額(千円)	対前年度増減率
一般会計		3,260,000	6.3%
特別会計	国民健康保険特別会計	509,918	-7.3%
	介護保険特別会計	597,318	1.1%
	後期高齢者医療特別会計	85,011	5.7%
総合計		4,452,247	3.8%

(R6年度)

歳入・歳出予算額(千円)	
3,067,000	
550,188	
590,588	
80,423	
4,288,199	

会計名		予算額(千円)		対前年度増減率
公営企業会計	簡易水道事業会計	収益的支出	182,480	7.2%
		資本的支出	228,400	-7.2%
		計	410,880	-1.3%
	特定環境保全 公共下水道事業会計	収益的支出	212,176	-3.5%
		資本的支出	143,894	-13.7%
		計	356,070	-7.9%

予算額(千円)	
170,254	
246,159	
416,413	
219,806	
166,833	
386,639	

## 議案の議決結果

○賛成 ●反対

報告・議案		松本	塩澤	平林	宮入	坂井	松澤	金井	宮下	沓掛	居鶴	結果
報告 第1号	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認(全員一致)
議案 第1号	青木村議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案 第2号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案 第3号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案 第4号	青木村高速情報通信網の設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案 第5号	青木村犯罪被害者等支援条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案 第6号	青木村消防団条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案 第7号	青木村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案 第8号	青木村非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案 第9号	損害賠償の額の決定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案 第10号	上田地域広域連合ふるさと基金に係る権利の一部を放棄することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案 第11号	令和6年度 青木村一般会計補正予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案 第12号	令和6年度 青木村介護保険特別会計補正予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案 第13号	令和6年度 青木村簡易水道事業会計補正予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案 第14号	令和6年度 青木村特定環境保全公共下水道事業会計補正予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案 第15号	令和7年度 青木村一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案 第16号	令和7年度 青木村国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案 第17号	令和7年度 青木村国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案 第18号	令和7年度 青木村後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案 第19号	令和7年度 青木村簡易水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
議案 第20号	令和7年度 青木村特定環境保全公共下水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
発議 第1号	青木村議会議員の請負の状況の公表に関する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
請願 第1号	「再審法(刑事訴訟法の再審規定)」の速やかな改正に関する請願について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
陳情 第1号	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(全員一致)
陳情 第2号	「持続可能な学校の実現をめざす意見書」採択を求める陳情書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(全員一致)

※議長は採決に加わりません。

# 常任委員会報告

令和7年第1回青木村議会定例会で、令和7年度予算の認定について総務建設産業委員会及び社会文教委員会に付託された案件についてそれぞれ委員会審議が行われました。審議内容は次の通りです。

## 総務建設産業委員会

委員長 宮入 隆通

### 議案第15号 令和7年度青木村一般会計予算 の認定について

歳入では、村民税法人分の増額と地方交付税の増額の要因について、金利上昇に伴う基金等の運用状況につい

て、参議院選挙の委託金などについて、質疑が出されました。また歳出では、ふるさと納税の委託先などの状況、活性化企業人の活動状況、各種補助金の実績と今後の取組について、来年度実施予定の国勢調査について、

5年に1度の水張りの条件撤廃に対するこれまでの水張りの実績と今後の対応、新規就農者への支援状況、抵抗性アカマツ植林事業、薪・ペレットストーブ購入補助金の詳細、国道143号歩道整備(青木地区)に係る国・県要望状況、橋梁改修工事などについて、多岐にわたる活発な質疑がありました。

「令和7年度は、誘致した企業などの業績により、村民税法人分が大幅な増額となっており、効果が現れてき

ている。長年の懸案事項であった、村議会議員の報酬も改訂され議員のなり手不足解消に期待がされる。また、今年度から2カ年事業で整備を進めているあおきネットワークについては、今後公債費の増加が予想され、財政の硬直化も懸念される。引き続き更に、自主財源確保のため、新たな企業誘致などの取組みを積極的に行うことを期待する」との賛成討論があり、全員賛成にて原案のとおり認定することに決定しました。

賛成討論

杵掛 計三議員

### 議案第19号 令和7年度青木村簡易水道事業 会計予算の認定について

今後の水道管等更新計画の予定や財源確保策として起債借入後の償還見通し、事業増加による職員負担増への対応、企業誘致に伴う水道使用量の変化、水道事業に対する住民への理解を深める取り組み等について質疑があり、討論なく、全員

賛成にて原案のとおり認定することに決定しました。

### 議案第20号 令和7年度青木村特定環境保全 公共下水道事業会計予算の認定 について

質疑、討論なく、全員賛成にて原案のとおり認定することに決定しました。



青木小学校 先生とお別れの式



# 社会文教委員会

委員長 坂井 弘

## 議案第15号 令和7年度青木村一般会計予算 の認定について

教育委員会関係においては、保育園の未満児保育料の現状や一時的保育料の運用方法、修繕及び備品購入の内容、栄養士の配置状況、児童センター職員の充足状況、給食費無償化の負担金算定の根拠、青木村保育園・小中学校以外の通園通学者への補助の内容、小学校講師の配置状況と今後の見通し、学校における働き方改革の実情と進捗状況、国際交流事業の内容、小中学校のタブレットの更新状況について質疑応答がなされました。

また、住民福祉課関係においては、介護給付・訓練等給付費の受給者数及び給付内訳、訪問入浴サービス事業の利用状況及び予算増加理由、くつろぎの湯管理委託料の増加理由、高齢者クラブ

補助金の算出根拠、人権対策研修会負担金の支払い先、資源物売却代金の減額理由、後期高齢者健診委託料が特別会計から支出されていない理由について質疑応答がなされました。

「教育委員会関係では、小中学校での給食費無償化に2100万円が予算化され保護者の負担軽減が図られている。

住民福祉課関係では、児童手当制度改正に伴い、受給対象を18歳まで拡充し、2538万円を加え8400万円が計上されている。また、带状疱疹ワクチン接種補助に121万円が計上され、インフルエンザワクチン接種、人間ドック受診補助、高齢者補聴器購入費補助事業も含め、手厚い補助が行われている。

以上を鑑み、社会文教委員会に付託された予算については、全般にわたり適切な

予算と認め、今後も引き続き適正かつ効率的な予算運営を要望する」

との賛成討論があり、全員賛成にて原案のとおり認定することに決定しました。

賛成討論

塩澤 敏樹 議員

## 議案第16号 令和7年度青木村国民健康保険 特別会計予算の認定について

国民健康保険税の減収理由と被保険者の減少理由、滞納者の医療機関受診に対する対応について質疑応答がなされました。

討論なく、全員賛成にて原案のとおり認定することに決定しました。

## 議案第17号 令和7年度青木村介護保険特別 会計予算の認定について

総務費の一般管理費における消耗品費予算増額の理由について質疑応答がなされました。

討論なく、全員賛成にて原

案のとおり認定することに決定しました。

## 議案第18号 令和7年度青木村後期高齢者医療 特別会計予算の認定について

質疑・討論ともなく、全員賛成にて原案のとおり認定することに決定しました。



青木村保育園 卒園証書をいただく

# 大規模畑地基盤整備を

沓掛 計三 議員



1、人・農地プランから地域計画について



## 雑木処理農地整備事業が進む入奈良本牧場ソバ栽培地



事業着手前



事業竣工後

### 1 大規模畑地基盤整備を

人・農地地域計画は、10年後の農地利用を目標とし地域農業の現状や課題と集団転作を推進し農地集積等を基本とした農地利用等を進め目標を達成するための計画である。

**(問)** 下奈良本地区原地籍の畑地整備を断念した経緯。

#### 村長答弁

村の農業を支えてきた優良農地であったが農道は狭く耕作者の高齢化など立地の良さが活用されていないため有効利用を検討したが依然として農地利用希望者がなかった。

**(問)** 地域計画に上げた理由と現状について。

#### 建設農林課長答弁

原地籍は村内でも優良な畑地であるが一部荒廃している。以前一部国補助事業で荒廃化は解消されたが担い手の確保の目途がない。今後担い手の確保や地権者の理解を得て、基盤整備が必要とした地域計画を明文化した。

**(問)** 大規模基盤整備を。

#### 建設農林課長答弁

畑は不整形で傾斜地のため整備が必要であり、当面は村単事業で実施する。大規模集約は圃場整備が有効であるが地権者の理解と財源確保や費用対効果の検討が必要である。

**(問)** 現状のままでは林地化等荒廃が進む、早急な基盤整備が必要であるが。

#### 建設農林課長答弁

耕作している担い手も高齢化し荒廃化が懸念される。基盤整備は有効であると認識しているが、地権者や受手農業者にとつての事業効果が上がらざる整備が必要である。

**(問)** 集約化により獣害対策も効率的になるが。

#### 建設農林課長答弁

周辺全部を囲うことで、経費や労力が軽減される効率的な対策となるため検討する。

**(問)** 基盤整備は県農業開発公社と連携する方法は。

#### 建設農林課長答弁

県の公社を利用するには、相続登記や地域計画に位置付けされた担い手への集積が条件となり、地権者の協力が重要である。村松のブドウ団地と同様な事業は可能である。

**(問)** 原地籍は「ソバ祭り」など観光にも適さないか。

#### 建設農林課長答弁

この地籍は、展望や立地条件もよく観光面での利活用も見込める。整備には多額の投資が必要であるが貴重な提案として受止める。

**(問)** 国の「農地集約化等への支援制度」にあった計画を立

てた補助制度への検討は。

#### 建設農林課長答弁

今後、国の動向を注視し、国県補助や村単事業の両者を検討して取組んでいきたい。

**(問)** 企業誘致による農地減少面積確保対策は。

#### 村長答弁

荒廃農地解消など対策は必要であり実施している。原地籍の基盤整備も含めて村の基幹産業である農業のあり方を考えていく。

**(問)** この事業は完成まで数年かかると共に数千万円が必要と考えるが、企業誘致で得た村税単年度分の半分位数年かけて投資できないか。

#### 村長答弁

企業誘致で税収が増えたが、人件費・社会保障費・子育て支援や上下水道等公共施設整備等多くの課題があり、今後この事業への投資についても慎重に検討していく。

**(問)** ソバの安定収穫をするには畑地栽培がよく転作水田には適さない。今後の対策は。

#### 村長答弁

安定した収穫には重要な要素である、将来の村の農業展望から重い提案であると受け止める。原地籍の基盤整備事業については、今後重点課題として検討していく。





## 財源の更なる充実を！

松本 淳英 議員



1、青木村の財政状況について  
2、食料価格上昇と農業政策について



財政力が改善中



充実した学校給食(節分献立)

1 自主財源の大きな改善が期待される！

(問) 青木村の自主財源や財政力指数の見通しは。

村長答弁

財源確保において一番効果があったのは竹内製作所の誘致である。他にも既存工場の活用、道の駅の活性化、観光の活性化、ふるさと納税の充実、国道143の道路整備など自主財源の充実につとめてきた。

(問) 今後青木村で必要とされる大型事業の見通しは。

村長答弁

大規模な公共施設については、公共施設等総合管理計画を策定している。令和8年中の次回策定にあわせ、大規模改修や建築などの方向性を考えていく。

もし実際に建て替えを行う場合は、補助金や有利な起債を投入することが必須の条件になる。その際は、今ある複数の施設を統合し充実することが基本となっている。国の基本的な考え方の中で検討していく必要がある。

(問) 役場職員の給与水準についてどう考えているか。

総務企画課長答弁

国・県に準じた形で条例を

整備して運用しているもので、県内の同規模町村と比較して著しく給与水準が低いというわけではない。上級職での採用あるいは9級制、8級制の給与表を採用している県や市の職員と比較した際には、低くなってくる。

(問) 電算委託料(システム費用)については。

総務企画課長答弁

現在国が自治体システムの標準化、共通化を進めている。基本的にはどこの自治体でも国の仕様による同じサービスを提供することにあり、このことが将来的にはコストダウンにつながっていくことを期待している。

2 食料価格上昇でも充実した給食と農業支援を

(問) 小中学校の生徒一人当たりの給食費単価と給食の質は。

教育長答弁

小学校は低学年が325円、高学年が345円、中学校は390円である。今後の値上げを含めて上田市などの周辺自治体と比べると約10円程度高い。自校給食であり、バイキング給食や行事給食を提供していることから質は大変高い。

(問) 村内で作られた農作物をもっと給食で利用し、食費抑制と農業育成をはかることは。

教育長答弁

ブルーヴィー有限会社など提供者はいるが、まだ少ない。より多くの方から食材を購入していきたいが、安定的に供給してもらえない仕組みづくりが必要である。

(問) 米やダリアなど農業製品の海外への輸出が急増している。青木村の対応は。

建設農林課長答弁

長野県では、信州農畜産物の輸出拡大に向けて基本方針というものを定め、2027年度の県産の農畜産物の輸出額を28億円にする目標をたてている。

令和5年度から海外で稼ぐ長野農産物輸出拡大事業をスタートさせ、重点品目をブドウ、米、花卉とし、部局横断的な体制で取り組んでいる。

当村でも周辺自治体の先進事例を参考にするとともに、県との情報共有、連携により、輸出関連事業として、本村農業者が取り組めるメニューの把握に努めていきたい。

# 村の天然記念物に説明看板を

塩澤 敏樹 議員



1、みんなで支え合う地域社会づくりの現状と課題  
2、地域の歴史や自然を理解し尊重する取り組みについて



天然記念物 光明寺跡の「熊野杉」



青木の名前の由来になった「ねずみさし」の木

1 一人暮らし高齢者の現状について

(問) 一人暮らし高齢者の把握と認知症高齢者について。

住民福祉課長答弁

包括支援センターで定期的に高齢者世帯の戸別訪問での把握、地域の民生委員さんの情報、地域の住人の皆さんからの情報等で実態把握、早期発見に努めている。

(問) 一人暮らしの認知症高齢者の特有の課題に対するために、村の取り組みは。

村長答弁

ケアマネジャー、かかりつけ医と連携を取りサポート。また認知症サポーター養成講座などの支援事業を行っている。

(問) 情報通信ネットワーク等の高機能化における高齢者の見守り機能は。  
事業推進課長答弁

あおき安心スピーカーの設置を予定している。情報を受け取ったかどうかの確認の記録が取れる仕組みを検討している。また、インターネットにつながったテレビで、テレビをつけたかどうかを、離れたご家族の方との運用になるが、スマートフォンで確認できるようにする。  
(問) IoTを活用した単身高齢者

の見守り対策の検討を。総務企画課担当課長答弁

ネットワーク整備に伴い、インターネットを提供する業者が複数できる、より安価な形でインターネットが導入できる環境に整う、それを利用してIoT等を活用してほしい。

(問) ひきこもりについて村の捉えと、ひきこもりにある人の実態把握は。

住民福祉課長答弁

原則6カ月以上にわたって家庭にとどまっている状態と認識している。実態の把握は難しい。個別の相談、民生委員さんからの情報等によって個別に判断せざるを得ない。

(問) ひきこもり状態にある当事者や家族に行っている具体的な村の支援は。  
住民福祉課長答弁

窓口を設置し、本人家族等からの相談、SOSが出された場合は、関係諸機関と支援会議を開催する。必要に応じて専門機関又は医療に繋げる等の対応を行う。

2 地域の歴史や自然を理解し、尊重する取り組みについて

(問) 指定され40年近くたっている村の天然記念物について

て、保全措置が今どのような行われているか。

教育長答弁

毎年必要な対応をしている。

(問) 天然記念物は地域の歴史や文化を今に伝えるもので、大切に保護されていかなければいけない、その天然記念物に説明看板がないものがほとんどであり、是非説明看板を付けてほしい。

教育長答弁

村松の風穴、阿鳥川神社のしだれ桜、杵掛の野生サトイモには看板がある。説明看板を付けるのに個人所有の土地もあり、所有者の合意が必要である理由から揭示されていないと思われる。

(問) 信州昆虫資料館に、国蝶であるオオムラサキの卵、幼虫が葉を食べる様子、サナギ、オオムラサキの飛ぶ姿を見ることができ、保護施設を設置してほしい。  
商工観光移住課長答弁

自然の姿を見ていただきたいという職員の想いもあり、今後研究していきたい。自然に触れ合え、生きていく蝶や虫を観察できる魅力ある昆虫資料館に向けて、今後も研究していきたい。





# 健診改善、带状疱疹予防接種補助実現

坂井 弘 議員



- 1、上下水道埋設管の安全管理ならびに更新の見直し
- 2、学校教育に関する諸課題（学校給食費無償制度化、不登校生対応、制服・通学靴の刷新）
- 3、健康診断の改善ならびに予防接種補助の拡大

	不活性化ワクチン	生ワクチン	
接種費用	40,000～60,000円（2回分）	7,000～10,000円	
接種回数	2回	1回	
発症予防効果	97.2%	51.3%	
予防期間	約10年	約5年	
免疫力	低くても可	低い人は不可	
補助対象者	50歳以上	定期接種 65歳*	50歳以上 定期接種 65歳*
補助率	5割	7割	5割 7割
補助上限額	11,000円×2回	5,000円	
自己負担額		6,400円×2回	2,400円
再接種		検 討 中	

※ 65歳以外に、経過措置として2025～2029年度は70・75・80・85・90・95・100歳、加えて2025年度は100歳以上の方全員が対象になります。

## 1 上下水道の安全管理と展望

**(問)** 埼玉県八潮市はじめ全国で上下水道管損壊陥没事故が起きている。村内の状況は。

### 建設農林課長答弁

上下水道管耐用年数40年超の管路は40%・40km、漏水は年2・3件。下水道管耐用年数50年超の管路はない。陥没事故の発生もない。遠隔監視システムによる常時監視、業者による計画的清掃・点検も適切に行っている。

### (問) 青木村水道事業経営戦略

では、来年度までの耐震適合率40%を目標に掲げているが、達成見込みは。

### 建設農林課長答弁

40%には達していない。

### (問) 上田長野地域水道事業広域化の動向及び見解、青木村上下水道の将来的展望は。

### 村長答弁

動向をしっかりと注視する。上下水道料は、一般会計から繰出して補填している。持続可能な上下水道経営を目指し引き続き取り組んでいく。

## 2 学校給食費無償化制度整う

### (問) 4月からの学校給食費無償化制度発足に伴い、教育委員会ならびに保育園で作成された要綱に矛盾点がある。

された要綱に矛盾点がある。

### 教育長答弁

連絡調整が不十分だった。教育委員会の要綱を改める。

### (問) 不登校生の実状は。

### 教育長答弁

30日以上欠席は小学校11人、中学校7人。100日以上が小中学校とも2人。要因は心の不安が4割、診断がついている病気が2割、対人関係の悩みが2割。ほとんどが家で過ごし、小学校で1人だけ上田市の機関に行っている。

### (問) 国・県とも、学校以外の学びの場の確保を求めている。

### 教育長答弁

民間施設の利用は、慎重であるべきだ。

### (問) 不登校生の健康診断は。

### 教育長答弁

内科健診・歯科健診とも後日学校医で受診させたが、半数以上が未受診になっている。

### (問) 中学校のジェンダーレス制服の取組みの様子・見解は。

### 教育長答弁

生徒会を中心に検討し、代替案を発表して参観日に掲示した。来年度は生活上委員会が引き継ぎ、検討していく。教育委員会としては、活動を評価し応援していきたい。

## (問) 小学校の通学靴の刷新についてはどうか。

### 教育長答弁

小学校PTAの役員会等で話題になれば考えるが、教育委員会として働きかけることはしない。

## 3 健診・ワクチン補助前進

### (問) 来年度の村の健康診断の改善点は何か。

### 住民福祉課長答弁

個別健診実施医療機関を鹿教湯病院以外にも拡大する。また、脳ドックの5歳刻み助成を改め、どの年齢でも5年に一度補助対象とする。

### (問) 带状疱疹ワクチン接種補助はどのように行われるか。

### 住民福祉課長答弁

定期接種対象の65歳以上5歳刻み年齢は、7割助成する。50歳以上希望者には、半額・上限1万1千円を補助し、不活性化ワクチンは2回分を補助する。4月1日から実施する。

### (問) 子どものインフルエンザ予防接種の補助対象期間・対象年齢を拡大する考えは。

### 住民福祉課長答弁

期間延長については、今後検討する。

### 村長答弁

対象年齢の拡大は、村の財政状況を見ながら検討する。

# アイデアで観光を盛り上げよう

宮入 隆通 議員



- 1、公民館事業について
- 2、青木村の観光について



道の駅の「市庭(いちば)」  
冬場のにぎわいのコンテンツが必要！ 常識にとられない活用法はないか。

## 1 青木村の将来を考える場として公民館事業を

(問) 公民館事業をどのように考えているか。

### 教育長答弁

公民館を拠点として実施する地域住民向けの社会教育、文化振興活動のことである。

(問) 生涯学習の推進は。

### 教育長答弁

文化系学習サークルが29教室、スポーツ・健康づくりサークルが18グループある。

(問) 地域コミュニティのために行っていることは。

### 教育長答弁

村民運動会と青木村文化祭がある。

(問) 高齢者や子育て世代向けの講座や健康づくりの支援を行う講座は。

### 住民福祉課長答弁

介護予防事業としての講座や子育て世代向けに子どもの褒め方の講義などがある。

### 教育長答弁

健康づくりの支援として、ダンスの会や太極拳、健康スポーツ吹き矢教室等がある。子育て世代に向けては、わくわく広場を再開したい。

(問) 地域の歴史や文化を学ぶ場は。

### 教育長答弁

過去行った講演会や研修会、青木村検定の時の資料を活用し伝統文化の継承をしていく。

(問) 若い世代や女性に参加してほしいが。

### 教育長答弁

若者向け、女性向けに特化した活動を計画することは難しい。自主的に行う計画があれば応援したい。

(問) 指定管理者制度で運営する考え方はあるか。

### 教育長答弁

子どもたちや地域のニーズに合った活動が展開できるのであれば、積極的にお願いしたいところもある。

(問) これからの青木村を考えていく場を公民館事業として行っているのか。

自分たちで青木村をより発展させていくような意識を高める活動を実施したい。

### 教育長答弁

2年間通してにぎわう道の駅に  
(問) インバウンド対応は。

### 商工観光移住課長答弁

外国語の多言語化の表記や文化交流などの機運を高めることを行いたい。

(問) 消費券で還元させ、実質青木村のガソリンが全国一安くなるように打ち出してみているか。現在の社会情

勢を考えたい観光施策は。

### 商工観光移住課長答弁

青木村観光サポーターズ倶楽部で、青木村のファン作りを進めている。

(問) 長野県には小規模ながら頑張っているスキー場がある。スキー場の再生から学ぶことは。

### 商工観光移住課長答弁

アイデアや情報発信が重要と考えるが、観光事業者が主体的に取り組む事業を村として支援していきたい。

(問) 冬の道の駅のにぎわいを創るアイデアが必要だが。

### 商工観光移住課長答弁

農産物直売所の冬期間の品揃えについて姉妹都市との特産品交流など検討を進めている。

(問) 青木村の環境を生かした観光をどのように考えるか。

### 商工観光移住課長答弁

住民を講師とした体験事業で、交流を生みたい。

(問) これからの青木村の観光についての考えは。

### 村長答弁

今の状況に合わせた形でどうやって付加価値を高めていくか、あるいは時代に合ったものややっていくか、観光施策を考えていく。





平林 幸一 議員



## 高齢者の生活支援サービスの充実を

- 1、高齢者の多様な移動支援の取り組みについて
- 2、高齢者の食の調達支援サービスについて
- 3、高齢者の居場所づくりのさらなる取組について

### 高齢者の生活支援サービスの充実を



#### 1 高齢者の多様な移動支援の取り組みについて

**(問)** ①現在の地域バス等の現状と課題、利用者の要望について。

- ②運転手不足等、本村の課題に対する対応取組について。
- ③コミュニティ・カーシェアリングの導入について。
- ④コミュニティ・カーシェアリング運営資金確保について。
- ⑤今後の青木村地域公共交通の考えについて。

#### 総務企画課長答弁

①平成21年にセミデマンド方式で導入し、年間1万6千人をピークに令和元年度には7300人と半減した。これを踏まえ令和2年10月から、フルデマンド化をし、令和3年度には再び1万人を超え令和5年度は9千人余。日中の高齢者利用は令和3年には1400人、4年には1766人、5年は1876人と増え、皆様から高評価を頂いている。

②本村も運転手不足が課題。村営バスは、白バスで運転手は国交大臣認定の講習受講で資格取得可。人柄等考慮し、運転手確保に引き続き努める。

③現在村内移動はデマンドバスで利用者の利便性は確保できている。村外移動は、今後千曲バスの減便等が進む

と課題となる。コミュニティカーシェアリングを含め、移動手段確保の検討が必要。

④導入の場合は、運営資金の確保が必要。企業等を募るスポンサーバンクの創設等のしくみを参考に検討したい。

#### 村長答弁

⑤千曲バスと連携した村営バスの継続運行を軸に、移動手段を確保する。現在の計画は7年度迄、次期計画に向けニーズ調査を行い持続可能で利便性の高い移動手段に取組む。

#### 2 高齢者の食の調達支援サービスについて

**(問)** ①本村の配食サービスの取組の現状と課題について。

- ②配食サービスの見直しと方向性について。
- ③関係機関との連携による買物支援策の取組について。
- ④食の調達支援の充実に向けた今後の考え方について。

#### 住民福祉課長答弁

①概ね65歳以上の独居高齢者、高齢者のみの世帯で、買物や調理等が困難な世帯等を対象に、食の自立と安否確認の事業を展開中。現在の利用者約30名。課題は昨今の物価や人件費の高騰、また、人材の確保。

②配食サービスの利用を必要

とする高齢者がいること、安否確認をICT活用では困難で人が直接するを考慮し、配食サービスの提供は継続する。

#### 商工観光移住課長答弁

③商工会と連携し相談窓口を一本化し、事業の相談、資金調達等の相談に当たっている。今後関係者の意見、社会情勢を見て、応援補助金制度の創設についても研究したい。

④ネットを用いた配達サービス或いは福祉介護でのホームヘルプサービスに加え、今春導入の高速情報通信ネットワークの活用を研究していく。

#### 3 高齢者の居場所づくりのさらなる取組について

**(問)** ①高齢者が居場所につながるしくみの構築について。

- ②地域ふれあいサロンの状況と対応について。

#### 村長答弁

①楽しく繋がる青木村を目指すをテーマで誰もが繋がる集いを5回開催した。住民本位の居場所の設置に繋がるよう、行政でしっかり応援する。

#### 住民福祉課長答弁

②今迄の体操や運動教室等に加え、新たに保健師、管理栄養士、また、薬剤師による講座等を各地区のお茶会等、ふれあいサロンと同日に開催をしたい。

## 本会議討論

### 議案第15号

### 令和7年度 青木村一般会計 予算について

#### ■ 賛成討論 ■

塩澤 敏樹議員

私は、本予算案に賛成の立場で討論いたします。

一般会計32億6000万円の歳入歳出について、総務建設産業委員会と社会文教委員会に付託されました議案について審議いたしました。

多様化する住民要望に行政がすべて対応することは困難な情勢にあります。その中でも、総務建設産業委員会の審議につきまして、議員報酬改定の増額で1019万円、長年の懸案であり、今後なり手不足の効果につながるものと期待されます。自治体システム標準化に伴うシステム改修

で7097万円、防災無線設備更新工事に2000万円と新設備への移行に支障のないようお願いします。松くい虫対策に効果的に駆除するためのドローン調査に100万円、樹種転換事業補助金に683万円と松くい虫対策が図られています。

社会文教委員会の審議につきましては、児童手当制度改正に伴い、受給対象を18歳まで拡充し2538万円を加え8400万円が計上されています。帯状疱疹ワクチン接種補助に121万円が計上され、インフルエンザワクチン接種、人間ドック等受診補助、高齢者補聴器購入費補助事業も含め、手厚い補助が行われていると思います。

保育所の賄い費に1366万円、小学校、中学校での給食費に2100万円が予算化されており、

保護者の負担軽減が図られています。また小中学校で学習用タブレットパソコンが更新され8504万円、また小中学校の照明設備のLED化工事、児童セン

ター遊戯室の空調設備更新が行われ、教育環境にも配慮された予算となっています。以上現在の地方財政下にあつて、最善を尽くし、か

つ将来に希望を与える予算案であることを確信いたし、本予算案に賛成するものであります。



令和6年度青木村保育園 卒園式





# 議 会 の 動 き



## 上田地域市町村議会 議員研修会

1月27日(月)に上田東急REIホテルで、上田地域市町村議会議員研修会が行われました。

研修は大正大学特任教授兼地域構想研究所長で、総務大臣も務められた、片山善博氏で「真の地方創生と地方議会への期待」という演題で講演をお聞きしました。

地方議会はなり手不足、投票



講師元総務大臣 片山善博氏

率も低い状態であり、その背景には議会に住民からの信頼感がなく、頼りがいがないこと、また自治体の重要なことを決めるのは議会だという認識がないからであり、そこを議会も住民も考えなければいけないし、議員が頼られ信頼を得られるようにならないといけないといわれまし

今までもいろいろ

な議会改革をしてきたがうまくいったかというところではない。それはピントがずれて、うまくいかない、どこをどうするかという視点を考えていかなければいけない。まず「議会って何だろうか」役割機能は何かということからスタートしなければいけない。議会は自治体の重要なことを、覚悟をもって決める所であり、議会は決めることに、慎重になってほしい、恐れを持ってほしいといわれました。

議員として議会の役割をもう一度自覚して、地域の現状をしっかりと見て活動していくことが大切だともいわれました。

とても詳しく具体的で、経験されてきた事例をもとにお話しされとてもよくわかる講演でした。  
(塩澤敏樹)

## 長野県町村議会議長 会定例会

令和7年2月19日(水)長野市・ホテル国際21において第40回長野県町村議会議長会定例会が開催されました。

下出町村議会議長会長のあいさつに続いて全国町村議長会

表彰伝達があり、議會議員15年以上の議員に青木村議会では居鶴貞美議員が自治功労者表彰の荣誉に輝き表彰されました。続いて受彰者代表のあいさつその後議事に入り議案2件令和7年度事業計画、一般会計予算、報告1件、令和6年度県に対する提案・要望結果について、また、監事の選挙があり全員賛成にて可決承認されました。引き続き演題「攻める自治体・東川町」地方創生・地域活性化の実践モデル」と題して長野県立大学グローバルマネジメント学部准教授、中村俊彦氏による講演がありました。  
(松澤正登)

## 上田地域広域連合議会 会定例会

令和7年2月上田地域広域連合議会が、上田市丸子地域自治センターにおいて2月18日(火)から25日(火)までの会期で開催されました。

土屋陽一連合長から最重要課題である資源循環型施設建設について4年にわたり実施してきた環境影響評価は、1月31日に評価書の公告・閲覧が

行われ手続きが完了した。これにより、施設の建設中及び稼働後の「安心・安全な施設」について検証することができたと考えており、環境保全処置を適切に実施し、より環境への影響の少ない施設とする。安全・安心な施設及び地域のまちづくりに向けて一定の成果が得られたことから施設建設に向けた大きな節目の時期を迎えていると考えている。引き続き広域連合長としてゆるぎない覚悟をもって、なすべきことを弛みなく積み上げることで資源循環型施設の早期建設に向けて鋭意取り組んでいく。

地域医療対策については、地域医療を取り巻く情勢は、慢性的な医療従事者不足、医師の高齢化、医師の働き方改革などの影響もあり救急医療体制の維持が厳しい状況にある。上小圏域救急医療体制検討会において救急医療体制を維持するに「輪番制の継続」と信州上田医療センターに医療従事者を派遣する「共同利用型」を併せて行うシステムとして「上田スタイル」を提案している。今後も医療機関、医師会、長野県及び関係市町村等との連携を密にするとともに、広域連合の広報誌やリーフレットなど様々な媒体を通じて救急医療の状況を発信し、ご

理解をいただきながら地域の安全・安心な医療救急体制の構築に向けて取り組む。ほかに上田、丸子、東部クリーンセンターについて、広域消防への取り組みについての話がありました。

令和6年度2月補正予算は一般会計、特別会計を合わせて、888万円の増額補正が提案されました。令和7年度当初予算は一般会計、特別会計を合わせた歳入歳出総額61億3233万円余と、前年度と比較して4億5279万円余、8%の増額となりました。人件費及び資材費等の高騰を受け財政運営が厳しくなる中で必要予算が計上されました。

提案された議案は、報告1件、条例2件、予算7件でした。全員賛成にて可決されました。(松澤正登)

**青木村及び上田市  
共有財産組合議会**

令和7年第一回青木村及び上田市共有財産組合議会定例会が2月28日青木村役場において開催されました。

議案審議に入る前に、令和7年度当初予算に関連するため、



今期で共有財産組合を退任される事務局長(左から二人目)

事務局より令和6年度の実績見込及び、令和7年度事業計画並びに5ヶ年計画の概要について説明がありました。

提出案件は2件で、議案第1号令和6年度補正予算(第1号)の認定については、主伐事業等の増により、歳入歳出それぞれ384万2千円を追加し総額4144万2千円とするものです。

次の議案第2号は、令和7年度当初予算を4427万8千円とするもので、両議案とも質疑なく全員賛成にて原案のとおり決定されました。(金井とも子)

**住民懇談会開催される**



2月21日から2月25日に間で議員と住民による懇談会が開催されました。

今年度の開催は、村内7地区に会場を分けて、議員が分かれて担当しました。ご協力いただきました各区長さんをはじめ関係者の皆様に感謝申し上げます。参加いただきました住民の皆様には大変お寒い中大勢の参加をいただき貴重なご意見、ご提言ありがとうございました。

参加者は合計67名でした。今後議会活動に反映させていきたいと思っておりますので一層のご理解とご協力をお願いします。(松澤正登)



## 住民懇談会での主なご意見

# 住民の方のご意見を議会で反映させています！

項目	地区	住民の方からのご意見	議会としての対応	備考
国道 143 号 青木峠バイパス等	・入田沢区・中村区 ・中挾区 ・下奈良本区 ・入奈良本区 ・沓掛区・殿戸区 ・青木区	トンネルの進捗や開通後の考え	議会の中で進捗確認を行い、開通後に備えて危険箇所等の改善を要望して参ります。	3月議会 総務建設産業委員会にて
あおきネットワーク	・夫神区・細谷区	公民館での契約金額の負担が大きいのを検討してほしい。	委員会質疑にて、改善策を求め、公民館における費用負担について検討することになりました。	3月議会 総務建設産業委員会にて
デマンドバスの予約	・下奈良本区 ・入奈良本区 ・沓掛区・夫神区 ・細谷区	月曜日のデマンドバス予約は金曜日にならなければならないのは不便。	委員会質疑にて、改善策を求め、予約方法についてはあおきネットワークの活用など検討することになりました。	3月議会 総務建設産業委員会にて
農業機械レンタル	・青木区	乗用草刈機を借りたいときに壊れていて使用できない。	以前より修理が多いことを村に指摘しており、来年度新規購入することになりました。	3月議会 総務建設産業委員会にて
農業機械レンタル	・村松区	竹チップ粉碎機が大きすぎて扱えない。運搬方法は。	村の2tトラックを貸出し（別途費用）できることになりました。	3月議会 総務建設産業委員会にて
道路整備	・村松区	規模の大きな林道整備は村でもっと補助してほしい。	材料支給で対応できない規模の場合は村と相談しながら進めていくことになりました。	3月議会 総務建設産業委員会にて
带状疱疹ワクチン接種	・夫神区 ・細谷区	65歳（経過措置5歳刻み年齢）の定期接種のみでなく、50歳以上にも補助してほしい。	4月から、定期接種7割補助、50歳以上希望者5割補助の助成を行うことになりました。	3月議会 一般質問にて
図書館の蔵書	・夫神区 ・細谷区	資格取得のための蔵書を充実させてほしい。	資格取得のための制度は年々改正され、内容変更が激しいことから図書館蔵書とすることには馴染まないとの答弁でした。	3月議会 社会文教委員会にて
文化財の改修	・殿戸区	県宝日吉神社権皮葺屋根の改修費用の地元負担を少なくしてほしい。	要望を教育委員会に伝え、助成制度の構築も含め村に要望します。	
男女共同参画	・当郷区 ・殿戸区	区役員等への女性登用は進んでいるか。経験値が不足している現状にある。	第5次青木村男女共同参画計画に反映させるとともに、議会等で意見反映し更なる女性参画を促します。	2023年3月議会・9月議会 一般質問にて
地域支え合いの会	・青木区 ・入田沢区 ・中村区 ・中挾区	役員のなり手不足により、維持が難しい。組織改編や活動内容の検討、評価が必要。	委員会質疑で取り上げましたが、区の実情に応じた運営をされたいとの答弁でした。	3月議会 社会文教委員会にて

### 【総務建設産業委員会】

多くの地区からあおきネットワークのスマートフォンアプリについて質問をいただきました。順次村側から説明がある予定ですが、丁寧に村民に説明するよう要望しています。また松くい虫対策、防犯カメラ、移動販売車について等、ご意見・ご要望をいただきました。議会でも皆様のご意見をお伝えし、反映できるように村側と協議しながら対策を進めて参ります。

### 【社会文教委員会】

保育園あおきっ子広場の整備・活用、介護施設の充実・負担軽減、若者参加のためのグッズとしてのLINE活用、歯科医の村内開業などについてもご意見・ご要望をいただきました。いただいたご意見を大事に議会等で適宜反映し、改善・充実を図って参ります。

住民の  
声

ゆい  
「結の手」～自然とのつながりを取り戻す～ 三林 寛

「メェ～」

移住先を探すために青木村を訪れた際に、行く先々でヤギに出会いました。

インドの伝統医学アーユルヴェーダでは、ヤギの乳は身体に良い食材と言われています。こんなにヤギと出会える青木村で暮らしてみたい…

こうして私は昨年4月から青木村で半農半医生活を始めました。

医師として上田生協診療所に週3日勤務し、残りの日は「結の手」という屋号で、自然とのつながりを取り戻すことで「体外フロー」を整え、美味しく・楽しく・みんな元気に!する活動をしています。その一環として、まず農業に取り組んでいます。堀内農園のご協力のもと、菌ちゃん農法や自然栽培という方法で、健康野菜を育てています。4月から妻も青木村に移住し、畑でできた野菜を生かしたシンプルで美味しい料理を発信してくれます。

「結の手」の活動にご理解・ご協力いただける方もいらっしゃり、青木村でも講演会や、菌ちゃん農法実践会を企画していただき、感謝の気持ちでいっぱいです。



青木村は、山や温泉など素晴らしい自然があり、自然と共に生きている人たちがいらっやっ、このようなところで「結の手」の活動ができることは本当にありがたいことだと思っております。

「結の手」は美味しく・楽しく・みんな元気に!をモットーに、青木村から全国に向けて健康情報を発信できるように活動を進めます。青木村の皆様、これからよろしくお願い申し上げます。

編集後記



今の編集委員会のメンバーでの議会報の発行は今号で最後となります。表紙では村内で活躍する村民の方に登場いただき、最終ページの「村民の声」で普段感じていることなどを語っていただくようにするなど、少しずつですが、皆様に関心を持っていただけるように工夫してまいりました。議会広報の今後のあり方については、整備されつつある、あおきチャンネルなども活用しながら、さらに皆様に分かりやすく議会のことをお伝えすることができるように努めてまいります。

(M・T)

青木村議会日誌

2月

- 3日 / 節分祭(議長)
- 7日 / 上田地域広域連合議会(正副議長)
- 15日 / 住民懇談会(文化会館)
- 15日 / 住民懇談会(下奈良本ふれあいセンター滝の館)
- 18日 / 上田地域広域連合議会(正副議長)
- 19日 / 県議長会第40回定期総会(議長)
- 20日 / 全員協議会
- 21日 / 住民懇談会(当郷公民館)
- 21日 / 住民懇談会(アイリスの館)
- 21日 / 住民懇談会(夫神公民館)
- 22日 / 住民懇談会(殿戸区コミュニティセンター)
- 25日 / 住民懇談会(義民の郷ふれあいセンター)
- 25日 / 上田地域広域連合議会(正副議長)
- 25日 / 議会運営委員会(議会運営委員)
- 27日 / 例月監査(監査委員)
- 27日 / 消防委員会(総務建設産業委員)
- 28日 / 青木村及び上田市共有財産組合議会(青木村及び上田市共有財産組合議会議員)



3月

- 4日 / 議会開会
- 6日 / 議会一般質問
- 10日 / 国道143号青木峠バイパス着工を祝う会(議長)
- 11日 / 総務建設産業委員会(総務建設産業委員)
- 12日 / 社会文教委員会(社会文教委員)
- 14日 / 議会審議採決
- 14日 / 全員協議会
- 14日 / 議会報編集委員会
- 18日 / 小学校卒業式(正副議長、社会文教委員)
- 19日 / 中学校卒業式(正副議長、社会文教委員)
- 22日 / 保育園卒園式(正副議長、社会文教委員)
- 28日 / 例月監査(監査委員)



4月

- 1日 / あおきチャンネル放送開始記念セレモニー(議長)
- 2日 / 保育園入園式
- 4日 / 議会報編集委員会(議会報編集委員)
- 4日 / 中学校入学式(正副議長、社会文教委員)
- 5日 / 小学校入学式(正副議長、社会文教委員)
- 11日 / 議会報編集委員会(議会報編集委員)
- 25日 / 全員協議会
- 28日 / 例月監査(監査委員)



5月

- 8日 / 上田地域広域連合議会代表者会(議長)
- 23日 / 上田地域広域連合議会臨時会(議長)
- 27日 / 全国議長会議長・副議長研修会(正副議長)

今後の予定